

2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立 八幡特別支援学校】

1 実践テーマ	I・II・III・IV・ V （複数選択可）
2 実施対象者 (学年・人数)	① ラグビー・ウェールズ代表との交流（9月13日） 全校（小・中学部、高等部）児童生徒 180名 ② 柴原さんとの交流（12月11日） 中学部27人、高等部62人 計89人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（ ） ② 行事名（ ○ アスリートと交流しよう ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	アスリートと交流することを通して、スポーツに対する興味・関心を高めるとともに、生涯に渡ってスポーツを楽しもうとする心を育てる。
5 取組内容	① ラグビー・ウェールズ代表との交流（9月13日） ・歓迎の飾り付けをしよう 生徒会を中心に、ウェールズの国旗や歓迎の横断幕を全校で分担して作成した。 ・ウェールズ国歌を歌おう ウェールズ代表を迎えるに当たり、ウェールズの国を紹介し、全校でウェールズ国歌を歌う練習をした。



- ウェールズ代表を迎えて交流会をしよう
全校児童生徒が体育館に集まり、ウェールズ代表の人たちを歓迎して交流会を行った。



- ラグビーボールを使ってゲームをしよう
ウェールズ代表の人たちとラグビーボールを使ったゲームをして楽しんだ。



② 柴原さんとの交流（12月11日）

長年交流を続けている、元福岡ソフトバンクホークスでプロ野球選手として活躍されていた柴原洋さんに来校していただいた。そして、一緒にキャッチボールやバッティングをして野球の動きを楽しんだ。



	
<p>6 主な成果</p>	<p>子どもたちは、ウェールズ代表や柴原さんというアスリートに会うことで、本物のもつ雰囲気や人柄に触れ、とても喜んでいることが表情から伝わってきた。そして、ボールを使って一緒に体を動かすことで、スポーツの楽しさを十分に感じ取っている様子が見られた。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>ウェールズ代表を迎えるに当たって、ウェールズという国について、視覚的に捉えられるように映像資料にまとめ、各教室で視聴できるようにした。また、歓迎の気持ちの表れとしてウェールズ国歌を歌って聴かせるために、7月から各学級で歌の練習に取り組んだ。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>今回のウェールズ代表との交流は、市民スポーツ局と教育委員会の行政からの支援を受けて実施することができた。また、柴原さんとの交流は、自校独自に継続していることにより実施できた。今後は、アスリートはもとより様々な方々との交流を計画・実施していく上で、人材バンクのようなものがあるとよいと思う。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>様々なスポーツをしている方々と触れ合い、交流する機会を作り、子どもたちのスポーツに親しむ心を育てていきたい。</p>